

マリンビジョンNewsは、サロマ湖地域の1市2町で構成するマリンビジョン協議会が、自然環境と共生した明るい未来を創造する漁村づくりに向けた活動を紹介する広報紙です。

◆ 外海ホタテ豊漁

昨年の常呂・佐呂間・湧別各漁協では、主力である外海ホタテが豊漁となり、3月下旬より漁場造成を始め、6月には本操業入りし、12月22日で終漁しました。常呂漁協は過去最高の4万5,105トン、佐呂間漁協は1万1,351トン、湧別漁協は3万3,022トンの漁獲量となり、全体で8万9,478トンと前年より1万7,228トンの増で、3漁協とも当初計画を大幅に上回る漁獲量となり、オホーツク海での外海ホタテ漁は豊漁に恵まれました。



◆ 通常総会を開催

3月12日に佐呂間漁協、同13日に常呂漁協、同16日に湧別漁協がそれぞれ通常総会を開催しました。

各総会とも、平成24年決算と平成25年事業計画などの議案が承認され、常呂漁協では、外海ホタテ漁が史上最高の漁獲量を記録、また、サケ漁も史上最高の漁獲高となり、平成24年の取扱高が105億600万円の史上2位の取扱高となりました。



【常呂漁業協同組合の通常総会】



【湧別沖のサケ漁】

佐呂間漁協は28億6,700万円、湧別漁協は63億4,000万円の取扱高となり、外海ホタテ漁とサケ定置網漁が好漁だったことにより、2漁協とも史上3位の取扱高となるなど、ホタテ稚貝放流やサケ・マス稚魚放流が、オホーツク海三漁協の安定した水揚げをささえています。

◆ 湧別漁協女性部が奨励賞

農山漁村における地域の活性化に貢献する優れた活動を行っている団体を表彰する「わが村は美しくー北海道」(北海道開発局主催)で、湧別漁業協同組合女性部(古谷智子部長)が実施する植樹活動「浜の母さん植樹祭」が網走開発建設部管内で奨励賞を受賞しました。

オホーツク海やサロマ湖の豊かな漁場環境を守り続けるため、これまでに11haに2万本を植樹していて、豊かな森づくりに向けた植樹活動が称えられての受賞となりました。



【「わが村は美しくー北海道」網走管内表彰式】

◆ オホーツク海ホタテ漁

3月15日、オホーツク海のホタテ漁に向けて、大漁旗を掲げたホタテ操業船12隻が次々と湧別漁港に下架されました。湧別漁協の初漁は18日からで、当日は湧別町長や漁協役職員が見送るなか、午前7時前に12隻が一斉に出漁しました。常呂漁協は19日、20日の2日間、佐呂間漁協は19日に操業船を下架し、両漁協とも22日が初漁となりました。



【大漁旗を掲げたホタテ操業船(湧別漁港)】

◆ 氷上事故防止



【寄贈された海難事故防止看板】

3月7日、湧別町の東地区で氷上釣り客が誤って水中に転落する事故を未然に防ぐため、海上保安協会紋別支部(阿部滋支部長)が海難事故防止看板を寄贈しました。湖畔の入込みの多い3箇所に設置し、20日には、紋別海上保安部と湧別町職員の11名がサロマ湖をパトロールし、釣り客らにライフジャケットの着用など転落事故の防止を呼び掛けました。



【サロマ湖での合同パトロール】

発行 サロマ湖地域マリンビジョン協議会 2013. 4. 1
編集 サロマ湖地域マリンビジョン協議会事務局広報担当
〒099-6404 湧別町栄町112番地の1
湧別町総合支所産業振興課水産林務係
Tel 01586-5-3763 ・Fax 01586-5-2283
Mail sangyo@town.yubetsu.lg.jp

